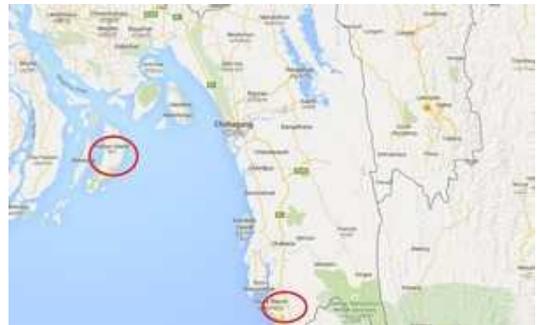


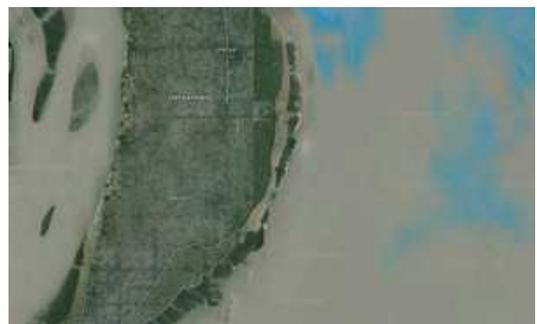
《 バングラデシュ政府、ハティア島にロヒンギャ・キャンプを移設 》

小島正憲

犯罪に関わるロヒンギャ難民が増加し、バングラデシュ政府は、彼らをコックスバザールの難民キャンプ周辺から、ノアカリのハティア・ウボジラの孤島に移動させる予定である。最近、何千というロヒンギャがアンダマン海とマラッカ海峡の間に漂流しているという情報の中、この計画が発表された。シェイク・ハシナ首相は、すでに6か月前に「適切」な場所にキャンプを移動させるよう関係者に命じていた。政府関係者はハティアが「適切」な場所として選



ばれたと言っている。ノアカリ副コミッショナーのバドレ・ムニール・フィルダオウスは、「政府は大きくて適切な場所を探していた。そしてハティアの 500 エーカーに及ぶ浅瀬に決めたようだ。しかしこの計画がどのようにいつ実行されるのかについては知らされていない」と語った。コックスバザール副コミッショナーのアリ・ホセインは、「私はここに赴任して間がないので、この問題についてまだ検討していない。私が知る限り、彼らはノアカリのハティアのどこかに移動されることになっている」と語った。ハティア・ウボジラ・ニルバヒ・オフィサー(UNO)のアブ・ハスナト・Md.モエーンは、「ノアカリ・ディストリクト当局は孤島の東の浅瀬を選んだ。テングルチョールと呼ばれるこの浅瀬には人は住んでいない」と語った。DC フィルダオウスは、「私もハティア・サダールから遠く離れたこの土地を訪れて調べた」と語った。森林局がそこに 12,000 エーカーの土地を持っている。ノアカリ当局はランド(土地)大臣から、移動のために 500 エーカーの土地が必要であると報告されている。UNO は土地の調査に時間が掛かると述べた。



コックスバザールにある難民キャンプは、クトゥッパラングとナヤパラに位置する。そこには 34,000 人のロヒンギャが登録されているが、政府はバングラデシュには 500,000 人以上のロヒンギャがいると述べている。ロヒンギャ難民は不法にバングラデシュ旅券を集め、犯罪に関わっていると言われている。諜報機関によると、彼らはミャンマーから麻薬や人身の密輸に関わっている。その上、バングラデシュの重要なリゾート地キャンプがあるのは観光が脅かされると考えられる。

ミャンマーで迫害を受け、ロヒンギャ・イスラム教徒は 20 年前から国境を超えバングラデシュに進入し始めた。政府は難民としてバングラデシュに住んでいるロヒンギャを、ミャンマー政府に引き取るようにと長い間求めていた。しかし、ミャンマーはロヒンギャをミャンマー国民として認めるようにという国際的圧力を否定し続けている。2012 年の暴動の後、ロヒンギャ・イスラム教徒の国境越えは増えてきたが、政府はこれ以上受け入れることができないと決定している。

以上